

オープニングウィークに行われた活動



完成セレモニー

①広場に対する愛着の醸成
広場が親しまれ、愛されるよう、広場周辺の施設利用者や、小中学生を対象に愛称を募集しました。511案の応募があり、市民を含む委員とともに愛称を決定し、ロゴを作成しました。



広場に仮設された家具

②人々の居場所となる空間の提案
広場で行う市民活動などが広場特有の美しい風景となるよう、広場の利用方法の可能性を広げる家具（椅子や机、パレットなど）を設計・製作しました。



芝生ナイトプロジェクトでの映画上映

③広場活用の可能性の模索・共有
読書、ランチ会やバーなどの開催、吹奏楽の演奏やゴスペル、映画上映、マルシェなどを行うほか、市民団体にも広場を利用してほしい、広場の可能性を示しました。

利用者からは「色々なことに活用できることを知って驚いた」、「サークル活動を披露する場があまりないので今後も利用したい」という声が集まりました。

まるたす会議を開催

オープニングウィークの報告会。報告会の前には、同研究室による家具（椅子や机、パレットなど）の設置やワークショップを行います。報告会の後にバーでの意見交換会なども。

📅8月10日(出)午後6時30分～7時30分。
家具の設置は午前10時から。雨天時は8月11日(日・祝)。
📍南千里駅前公共広場(まるたす広場)。



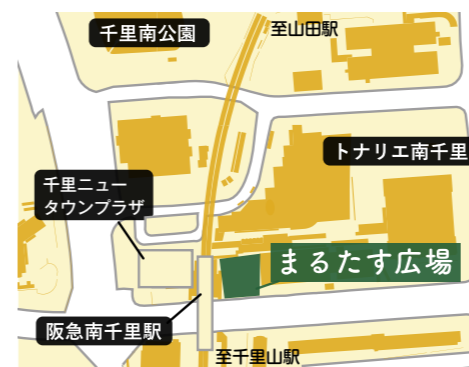
まるたす広場
まるたす広場の
ロゴマーク



オープニングウィークの様子をまとめた動画をチェック



阪急南千里駅の東側に完成した駅前公共広場、愛称はまるたす広場。完成に合わせて実施したオープニングウィークの報告会(まるたす会議)を8月10日(出)に開催します。広場の使い方などについて、一緒に考えてみませんか。📍地域整備推進室(佐竹台1 ☎6833・6871 ☎6872・1652)。



「多様な世代の地域住民が気持ちよく使える広場」をめざし、まるたす広場を整備しました。駅前という人が集まりやすく便利な場所にあり、広場で人々が自由に過ごす風景を眺めながらほっとくつるげる空間になっています。行事や催し物を行う際は、周りの歩行者デッキが観客席のようになり、その様子を見下ろせます。

今後は、住民の生活をより豊かにする活動を広場で実施していきます。「広場を使っておしゃれな空間を演出したい」「広場でこんな面白いことをやってみたい」というアイデアがあれば、地域整備推進室へ。

まるたす広場の整備

広場を上から見てみる

広場を上から眺めると、形が丸くなっていて、中央には「十」の記号が見えます。これが愛称「まるたす広場」の由来。さらに愛称には「良い評価(〇)を足(+)していい」というポジティブな意味も込められています。

オープニングウィークを実施

まるたす広場の完成に合わせて、関西大学住環境デザイン研究室と市の協働でオープニングウィークを開催し、さまざまな活動を行いました。同研究室は人々が心から豊かに暮らすことのできる場の研究を専門としており、千里南公園に関する研究を実施していました。そこに市が、広場の情報を提供したことで、住民の生活をより豊かにする広場像へ向けた協働作業が実現しました。

より充実した広場を届ける

オープニングウィーク最終日にふだんと同ウィークの風景、どちらが魅力的かというアンケートを行いました。結果は、訪れた人の約88%が同ウィークの風景が魅力的だと回答しました。